

季刊

青葉の森から

第27号
winter

ふろくつき♪

2013年1月5日発行

みんなのギャラリー

セリバオウレン



寒さが厳しいこの時期、部屋にこもりがちになってしまいますが、たまには外に出て、森をお散歩なんていいかがでしょうか？ 冬の青葉の森も楽しいことがいっぱいですよ。葉が落ちて見通しがよくなった森では鳥が見やすくなり、時にはすぐ近くまで群れがやってくることもあります。雪が降った後は、タヌキやリスなどの足跡が見つかるかも！ 森の中では風もやわらぎ、静かな時間が流れていきます。あたたかい格好をしてあそびに来て下さいね！（新）



「冬の楽しみ方」

寒くてなかなか生き物に出会うことができない冬。何をして遊ぼうか?
そこで僕が知っている、森で見つけられるものを利用した遊びを紹介
したいと思います。ぜひ、やってみてね。(佐)

その1 氷のオブジェ

☆遊び方☆

プリン等の空容器の中に葉っぱや木の実と水を入れて、寒い所に置いて凍らそう!
凍らせたものをならべて『氷のオブジェ展』を開いてみても楽しいかも♪



その2 クルミのカスタネット

☆作り方☆

- ①段ボールを縦に16cmくらい、幅を3cm(クルミがはれるくらい)に切る。
- ②切った段ボールを真ん中で半分に折り、両端にクルミをはって、手を持ってふれるようにわりばしをつけたらできあがり!
いい音がするよ♪



その3 落ち葉の神経衰弱

☆作り方☆

- ①同じ種類の落ち葉を2まいづつひろってくる。
- ②たて10cmくらい、よこ7cmくらいに切った画用紙にはたくさん作って、神経衰弱と同じルールで遊ぼう♪



「ふろくコーナー」

冬の森を歩く楽しみの一つは冬芽。葉っぱがおちたところについた模様が顔のようにみえたり、来年のお花になる芽や葉っぱになる芽が大きな帽子のようにみえたり、おもしろい顔を見つけて歩くのは楽しいものです。

その芽の中には、もうすでに、花や葉っぱができあがっていて小さく折りたたんであります。それも、すぐにパッと開ける仕組みになっているとか…。どんな風に折りたたんでいるか知っていますか!?

実はこの折り方を考えた日本人がいます。その人のお名前をとって「ミウラ折り」とよばれています。

今回は、「ミウラ折り」の中でも、木の芽の中の若葉の折り紙を青葉の森の代表的な木のひとつ「イヌブナ」の形にして『ふろく』にしました。少しむずかしいかもしれませんか、お家の方といっしょに作ってみてくださいね。

ミウラ折り

「ミウラ折り」は東京大学名誉教授の三浦公亮さんが考案したものです。元々は、人工衛星のパネルを展開方法を研究するうちに生み出されたそうで、今では地図の折り方などに実用されています。

「ミウラ折り」が発表されてから、木の芽の中の若葉や昆虫の羽にも同じ折り方が存在していることが発見されました。

みほん



11月

紅葉を楽しむイベントをたくさん開催しました!



11/11(日)

森を体感

「紅葉の森を歩こう!」



天気が思わしくなく曇り空でしたが、青葉の森緑地の中でも特に紅葉のきれいなスポットを散策しました。



【ご参加頂いた方より】 「あいにくのお天気でしたが、きれいな紅葉の下で、楽しく散策できました」



11/18(日)

森の女子会(秋編)

秋にときめけ!やまとなでしこ☆



今回のテーマは「和」と「色」。年代を20~30代に限定し午前は晩秋の森の散策、午後は襲(かさね)の色目にちなんだ和柄のシュシュを作りました。



11/17

午前(土) 親子でおさんぽ♪あきいろの森

秋が深まり紅葉した森の中をおさんぽしながら、顔に見える葉っぱを見つけたり、スライドを作ったり、紅葉した葉っぱの色や形を楽しむ活動をしました。



ちだ こうたろうくん
(6才)

もりのたんけんは おくれたけど はじめたら どきどきしても すぐなんかできてうれしかったよ。
それと いろをさがしたりおとをきいたらして たのしかったよ。



くまかい りょうまくん
(4才)

はっぱのすらいどをつくるのがたのしかった。またやりたい。



くまかい けんすけくん
(6才)

あかとかきいろとかちゅいろのはっぱをならべるのがたのしかった。またやりたい。



11/17

午後(日) 昼下がりのこもれび散歩

紅葉が進み赤や黄色から茶色にかわりはじめた森をお散歩しました。



【ご参加頂いた方より】 「木が幹や枝だけになつた時の森の風景はどんな感じになるのでしょうか?」
季節の移ろいを感じる時間となつたようです。



12月



もうすぐクリスマス☆モミの木の森でレンジャーとあそぼう!

メリークリスマス!2日間ともあいにくのお天気でしたが、あたたかい笑顔があふれるあわせなひとときを過ごすことができました。絵本などのおとぎ話に出てくるモミの木は、遠い国の木ではなく、仙台のシンボリックな木のひとつです。2日間の活動を通して、クリスマスと青葉の森がつながっていたことみんな感じてもらえたかな?

12/15(土)



「ちいさなもみのき」という絵本を読んで、青葉の森のモミの木に会いにいきました。

そして、マツボックリでちいさなクリスマスツリーを作りました。



12/16(日)



森の素材でお料理を作ったり、アクセサリーを作っておめかしして森のクリスマスパーティーをしました!



はっぱではんぱーぐのりょうりをつくったり、べんざんとをつくってたのしかった。

おおつか ゆうみちゃん
(6才)



大塚 佳世さん



青葉の森 瓦版

冬眠中のウラギンシジミをみつけました！

先日、せせらぎ広場周辺で落ち葉の中で越冬中のウラギンシジミをみつけました！

昨年の情報誌第24号「これってなんだべ？」コーナーでもお伝えしましたが、ウラギンシジミは1950年代頃までは関東地方が日本における分布の北限と考えられていました。しかし、近年分布の拡大が顕著になり、現在の北限は宮城県、山形県で、普通に見られるようになっているそうです。

兄弟施設の太白山自然観察の森でも、3年連続越冬中のウラギンシジミを確認しているとのこと。2000年代になって岩手県でも生息が確認されており、どんどん北上を続けているようです。

ウラギンシジミの存在が、私達に何か語りかけているようなそんな気がしました。



☆ 2012年総決算！ 青葉の森ニュース ☆

2012年もいろいろなことがありました。そこで、青葉の森で起こったニュースをランキング形式でお伝えしたいと思います！

☆ 第1位 森の女子会で華やぐ♪

2012年の新たなイベントとして、森の女子会を2回開催しました。これまで青葉の森に訪れていた機会が少なかった、20代～40代の女性が青葉の森に集い、のんびりとした森でのひとときを楽しみました。

第3位 どんぐりが豊作！

はじめに俵型の大きなミズナラ、そのあとは、道を埋め尽くすくらいのコナラのどんぐりになりました。青葉の森では、どんぐりの殻斗で鳴らす笛が大流行♪アオゲラのものまねをして、鳴き返してくるのを楽しんだりしました。

2013年もどうぞよろしくお願ひいたします。皆様にとって素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

厳寒期一時通行止めのお知らせ

珠林広場～花木広場の散策路は、今年6月に発生した台風4号の影響で土砂崩れが発生し、通行止めとさせていただいております。更に、凍結による滑落のおそれのある箇所について一時的に通行止めとさせていただくことになりました。ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解いただき、通行止め区間につきましては、引き続き、近づかないようご協力をお願いします。



【番外編】クロクサアリのお城なくなる！

センター前のハリエンジュの木には、クロクサアリというレモンのようなにおいがするアリがたくさん棲んでいます。しかし、その木が枯れてしまい危険なため、今年9月に木を切ることになりました。少しでもアリの住まいを残したいと、地上から3メートル程の高さを残して切ってもらいました。

第2位 小学生がたくさん来園！

これまで、小学校の学校対応を行ってきましたが、今年は年間を通しての活動のオファーを多数頂きました。四季を通して自然と関わることでより深い自然体験を行うことができたように思います。様々なお子さんとの出会いは、スタッフにとっても大きな学びとなりました。

第4位 紅葉が美しかったあ！

今年は例年なく美しい紅葉を楽しむことができました。赤、オレンジ、黄色、ピンク、色づいた森でのイベントも多数開催。多くの方と紅葉を満喫することができました。



イベントのお知らせ

定例イベント

親子でワクワク「森とあそぼう♪」

毎月第2土曜日(1/12、2/9、3/9)

午前10時~11時30分 集合場所:青葉の森 管理センター

対象:小学生以下の子供と保護者15名(先着)

親子で自然に親します。詳しくは市政だよりをご覧ください。



2月

もうすぐお彼岸 「けずり花をつくってみよう!」

春のお彼岸の頃(3月中旬)の東北は、まだまだ雪が残る季節でお供えにする花も咲いていません。

そこで、一昔前までは、コシアブラなどの木を削って色をつけた「削り花」をつくりお供えしていました。

里山に生きる人々の知恵と自然やご先祖さまへの想いのつまつた削り花を作つてみませんか?!



3月

☆『せんだいまチナカアート2012 亜炭香古学～足元の仙台を掘りおこす～』とのコラボ企画☆

【亜炭香古学 番外編】 青葉の森のディープな亜炭ピクニック!

乞うご期待!

日 時:3月23日(土) 午前10時~12時

対 象:一般20名(先着)

講 師:西城 光洋 氏(地学団体研究会仙台支部)

持ち物:軍手、長靴、雨具など、暖かく歩きやすい格好



昭和20年代頃まで生活燃料として使われていた亜炭。青葉山は亜炭の採掘場所のひとつでした。

今回は現存する亜炭層の観察を中心に青葉の森の地層にフューチャーしたピクニックを行います。

森を体感 「セリバオウレンのお花畠でかけよう!」

青葉の森で最も早く咲く花のひとつ「セリバオウレン」。透けるような白色の小さい花は美しく、まるで森の妖精のようです。このセリバオウレンが一面に咲くお花畠へ行ってみませんか?!



各イベントの申し込みは、毎月6日午前9時から
電話 022-263-2101で受付いたします。

“市政だより”または
インターネットでも詳しい情報をご確認頂けます。
杜のひろば:<http://www.sendai-park.or.jp/>

☆お便り大募集☆

青葉の森を歩いたご感想や身近な自然についての情報、
また今号へのご意見・ご感想など、編集部までお送りください☆

宛先:〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉260
青葉の森管理センター 情報誌編集部



団体利用のご案内 ~青葉の森で里山歩きを楽しみませんか♪~

青葉の森のレンジャーが四季折々の自然をご案内します。少人数(3~5名)からお引き受けいたしますので、お友だち同士、サークル、地域のイベント等でご利用ください。

活動の内容は参加される方々の年齢、人数、ねらい等ご要望に応じて準備させていただきます。参加費は無料です。

また、生活科、総合的な学習の時間などの自然体験学習に関する授業作りのご依頼も承っていますので、お気軽にお問い合わせください。

【青葉の森管理センター ☎ 022-263-2101】

これってなんだべ!?



①つもった落ち葉を



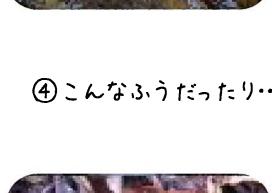
⑦去年の秋、青葉の森ではドングリがとてもたくさん実りました。



②めくってみると…



⑧おちたドングリは根っこをじめんにもぐらせます



③こんなふうだったり…



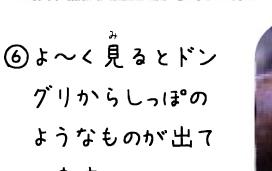
⑨こうして春になるまでねむりつづけ…



⑤こんなふうなドングリがみつかります。



⑩おひさまのひざしがあたたかくなる春、ドングリは芽を出して



⑥よ～く見るとドングリからしっぽのようなものがでています。これはドングリの根っこです。

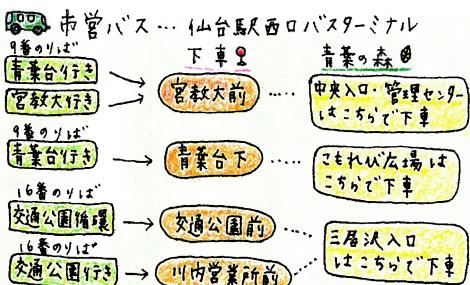


⑪葉っぱをのばしはじめます。



⑫ドングリたちは、今はあたたかな落ち葉の布団の下でしづかにねむっています。

つもった落ち葉をそとめくってみるとすやすやとどんぐりたちの寝息が聞こえてくるかもしれませんヨ。でも、めくった布団はそともとにもどしておいてくださいネ。(半)



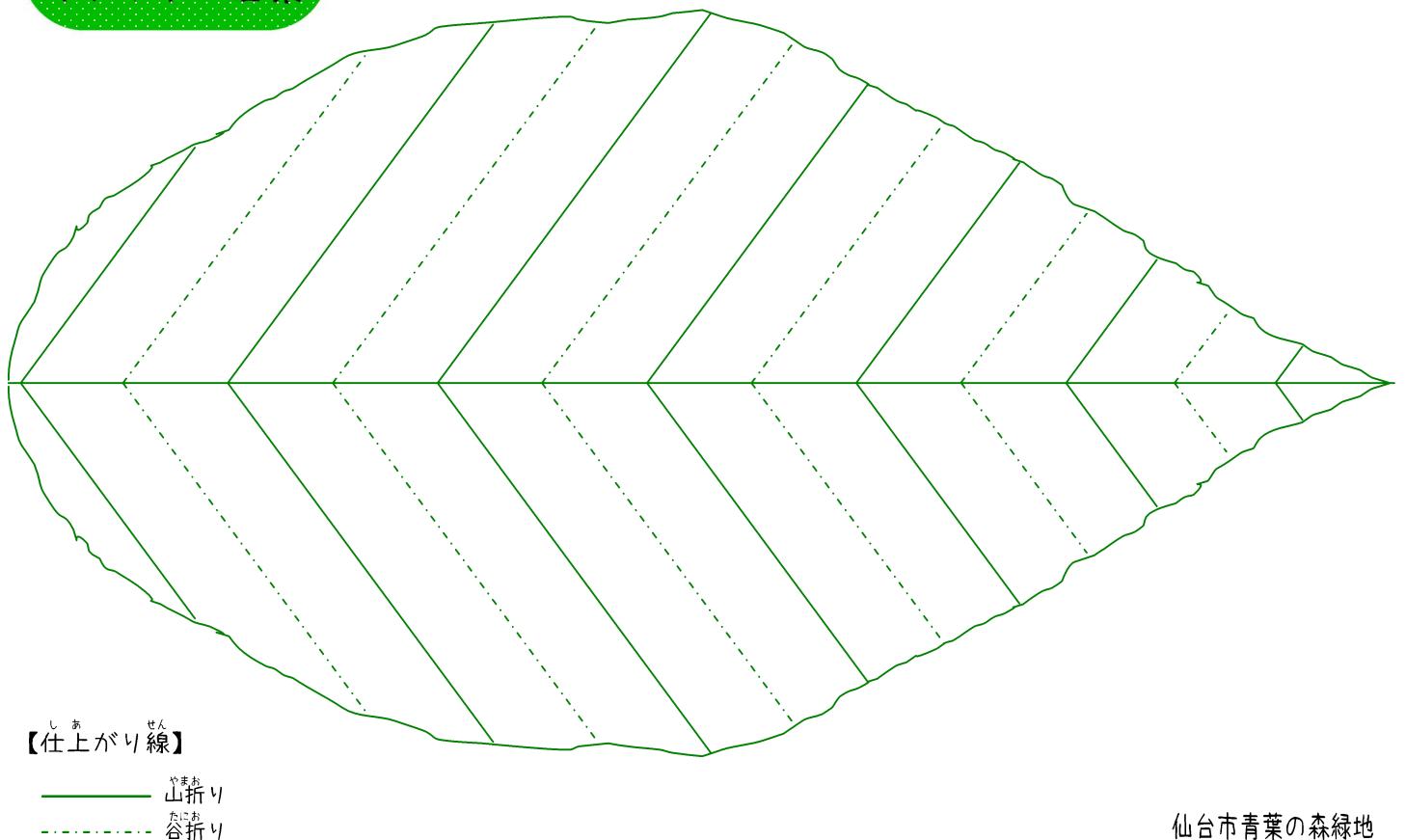
開館時間：9:00～16:30

休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始(12月29日～1月4日)
住所：〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉260

TEL: 022-263-2101 FAX: 022-263-2102
ホームページ: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/aobanomori/>
ブログ: <http://sendaishi-koenryokut-kyokai.no-blog.jp/>

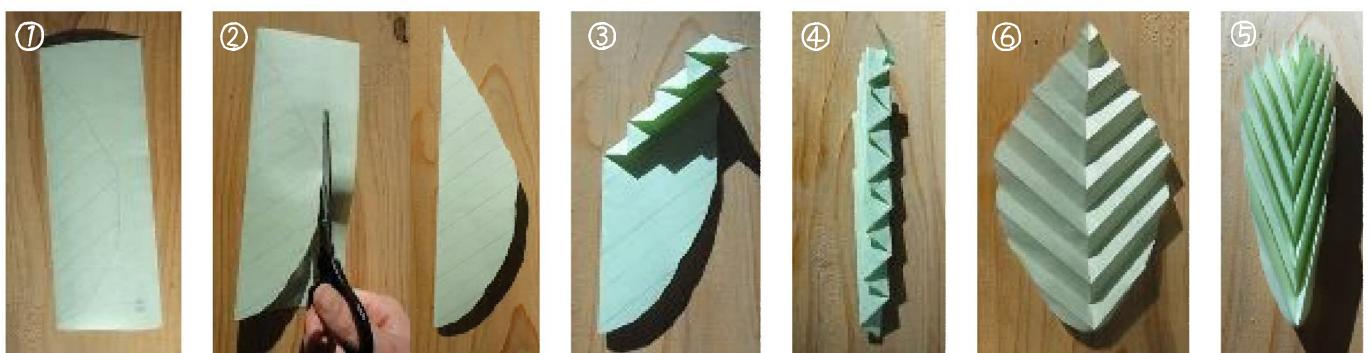
発行：(公財)仙台市公園緑地協会 企画・編集：仙台市青葉の森緑地 青葉の森管理センター

冬芽の中の イヌブナの若葉



作り方♪

【用意するもの】：ふろくシート・ハサミ



① 中心線に合わせて半分に谷折りする。

② 半分に折ったまま、ハサミで葉っぱの形に切る。

③ 半分に折ったまま、山折り谷折りを交互にじやばら折りする。
(この時は仕上がり線を無視してください)

④ しっかりと折り目をつける。

⑤ シートを開き、一方の山折り谷折りを全て逆に折り直し、向かい合う面の山折り谷折りを一致させる。(※仕上がり線どおりに折る)

⑥ V字に折りたたんで、できあがり☆



イヌブナのわかばだよ
ゴールデンウイークから
いにみられるかな☆

